

令和4年度第1回新潟市新津鉄道資料館運営協議会会議録

日時： 令和4年10月19日（水） 11:00～12:25

会場： 新潟市秋葉区新津地域学園405研修室

参加者： 新津鉄道資料館運営協議会 金山委員、南雲委員、樋浦委員、
奥原委員、関口委員、熊谷委員
歴史文化課 遠藤課長
新津鉄道資料館事務局 高山館長、加藤副館長、岩野学芸員
(以上10名)

傍聴人：0人

資料配付：新津鉄道資料館運営協議会次第及び別紙1～7

報告および意見聴取

- 1) 令和3年度入館者数実績報告
- 2) 令和3年度各種事業報告
- 3) 令和3年度アンケート集計結果報告
- 4) 令和4年度事業計画について
- 5) その他

内容

■ 高山館長

定刻になりましたので、ただ今より新潟市新津鉄道資料館運営協議会を開催いたします。
はじめに、歴史文化課の遠藤課長からご挨拶申し上げます。

■ 遠藤課長

本日はお忙しい中、運営協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

新潟市の歴史文化課は、歴史文化施策を行っており、文化財や埋蔵文化財を取り扱う業務のほか、所管施設としては、新潟市歴史博物館、新潟市文化財センターそして本年1月8日に開館した、歴史的な公文書を取り扱う新潟市文書館、そしてここ新津鉄道資料館を所管しております。新津鉄道資料館は皆様のご支援もあって、リニューアル以来多数の皆様にお越しいただいています。

新潟市の動向ですが、非常に厳しい財政状況であるという状況から、この3年間に集中改革を行ってきました。様々な業務が対象となり、ここ新津鉄道資料館も、予算の規模縮小などを余儀なくされたわけでございます。そんななか、新潟市では来年度からの新たな総合計画の企画の立案をしているところです。その中で文化政策としましては、新潟市の独自色を出す意味で、みなとまち文化そしてマンガアニメ文化と並んで鉄道文化も焦点を当てて発信していこうと、議会や外部の有識者の皆さまと議論を重ねているところでございます。

当館の運営につきましても、コロナ禍で非常に大きな影響を受け、この2年は来館者数が大きく減りましたが、県外から多くのお客様にお越しいただくなど、復調の兆しを見せています。これも皆様からご意見をいただいて運営してきたなかでの賜物と思っております。

ここ秋葉区・新津では、総合車両製作所・新津事業所があり、その一般公開がこの10月

8日・土曜日に行われました。3年ぶりの開催ということで、また、この日は、JR 新津駅や新津運輸区そしてこの新津鉄道資料館でも連携して鉄道関連イベントを開催しました。多数のお客様にお越しいただき、にぎわいを見せたところです。

今年は、鉄道開業 150 周年と全国的に催しがたくさん行われているなかで、上越新幹線が開業して 40 年という記念すべき年でもあります。今年の特別展では、「新潟を変えた新幹線」として、上越と北陸という 2 本の新幹線が新潟県にどのような変化をもたらしたのか、という展示を開催させていただいております。また、来年、新津鉄道資料館は開館 40 周年を迎えます。まだ決定はしていませんが、40 周年を記念する事業で発信をしていきたいと考えています。コロナ禍という世界的な流れのなかではありますが、ポストコロナを含めて交流人口の拡大がどの自治体でも重要な要素となっています。皆様のご意見をいただきながら当館も交流人口の拡大に寄与できる施設になればと思っております。今後の運営について忌憚のないご意見をたまわりますようお願い申し上げます。本日は、よろしくお願いいたします。

■ 高山館長

申し遅れましたが、本日司会を務めさせていただく、新潟市新津鉄道資料館の館長の高山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の運営協議会の日程ですが、次第に基づき進めさせていただきます。正午ごろをめぐりに終了とさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、次第の 2. 当運営協議会についてです。今回、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、お手元の資料・別紙 1 の順に自己紹介をお願いいたします。なお、本日、野本委員が、他の用務が先に入っていたため、ご欠席でいらっしゃいます。野本委員からは、皆様によりよくお伝えくださいと承っております。では、金山委員からどうぞ。

■ 金山委員

法政大学の金山と申します。この資料館は立ち上げのときからいろいろとお手伝いさせていただいております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

■ 南雲委員

南雲友美と申します。新潟県内専門でバスガイドを主宰しています。この鉄道資料館は周辺の地域の皆様との連携が素晴らしいと思っています。そうした観点からお勉強させていただくとともに発言させていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

■ 樋浦委員

新津商工会議所女性会の樋浦礼子と申します。新津駅から新津鉄道資料館への道中にある寿司・割烹店を営んでいます。お子様連れや鉄道ファン方らしき方々など、資料館へいらっしゃるお客様が歩いたり自転車を通られたりするのをお見掛けし、イベントがある日などはその多さを感じています。よろしくお願いいたします。

■ 奥原委員

鉄道博物館で学芸員をしております奥原と申します。こちらとのご縁は、リニューアルの

ときに展示内容・解説原稿のチェックなどをさせていただいたことから続いています。こちらは地元と密着されて運営されているのが素晴らしいと思います。よろしくお願いいたします。

■ 関口委員

鉄道友の会新潟支部副支部長の関口恵理子と申します。前任者の後任として本日初めて出席させていただきました。前職は観光バスガイドをしておりました。運営協議会はまだ不案内なところがありますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

■ 熊谷委員

公募委員の熊谷由美と申します。新津鉄道資料館には、大学生のときにリニューアルのイベントのお手伝いをさせていただき、社会人になってからはボランティアとして関わってきました。委員に選んでいただき、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。では、事務局の自己紹介をさせていただきます。

(遠藤課長、高山館長、加藤副館長、岩野学芸員、の順に自己紹介)

続きまして、当運営協議会について事務局の加藤からご説明いたします。

■ 加藤副館長

新潟市には、法律や条例に基づいて設置される附属機関と、市政運営に対する意見聴取等の場である懇話会とがあり、これらを合わせて「附属機関等」と呼びますが、当運営協議会は懇話会に分類されます。

当運営協議会は、新津鉄道資料館の運営や事業について、幅広い見識をお持ちのみなさんからご意見を述べていただく場となりますが、懇話会という位置付けであることから、運営協議会という組織体としての意思決定を行う機関ではないということをご理解ください。

なお、会議は原則として公開となりますので、その点ご配慮いただきますよう、お願い申し上げます。

運営協議会の要綱につきましては、別紙 2-1 です。逐次の読み上げは省略させていただきます。また、別紙 2-2 は、委員の公募要領です。今期の公募委員に関しては、3 名の方からご応募いただき、熊谷委員を選出させていただきました。

それでは、別紙 2-1 運営協議会の要綱のほうの第 5 条をご覧ください。座長および座長代理を互選によって定めるとあります。新メンバーとなりましたので、まず座長と座長代理をお決めいただきますようお願いいたします。

■ 高山館長

それでは、座長と座長代理の選出につきまして、ご意見ある方いらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。

(なし)

■ 高山館長

ご意見がないようでしたら、事務局案として座長に金山委員を座長代理に、本日はご欠席ですが野本委員をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。(一同拍手で同意)

それでは、これからの進行は、金山委員に座長をお願いいたします（席移動）。

■ 金山座長

先ほど自己紹介をさらりとしましたので、一言だけご挨拶させてください。少し体調が悪かったのですが、きょうは新潟に来たら青空が見られてさわやかな気分になりました。

6月に「博物館とコレクション管理」という本を出しました。日本の博物館のウィークポイントになっているのが収蔵庫問題です。どこの博物館も収蔵庫に資料が入りきらなくなっていて、私は2008年に大学から派遣されてイギリスのロンドン大学へ行ったのですが、そこでコレクションの管理の勉強をして、イギリス国内を調査しました。その知見を基にして、日本の博物館関係者に協力してもらいながら書いたのがこの本です。

収蔵庫問題やコレクションの管理を考えて行くうえでは、日本ではこれまでにない手引きになるような本ですのでご紹介させていただきます。表紙の写真は収蔵庫に見えるのですが、これはイギリスのヨークにある国立の鉄道博物館の収蔵展示です。ここは2回ほど調査をしたのですが、5千㎡の広さがあり、展示室からそのまま収蔵展示室に入れるようになっていて、資料が1万点ほどあります。こういう収蔵庫を展示するということをイギリスは大変熱心にやっていて、その一番が鉄道なのです。そうした本をご紹介させていただき、また館のほうへ寄贈させていただきますので、活用してください。また、新潟市にはいろいろな博物館・美術館がありますが、そちらのほうでもご活用いただきたいと思います。

さて、第一回目ということで、よろしくお願いいたします。限られた時間ではありますが、有意義な会にしていきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

それでは会議次第に基づいて進めてまいります。まず事務局より、令和3年度の報告について説明願います。

■ 加藤副館長

それでは別紙3-1 令和3年度入館者数等報告書（年報）をご覧ください。また3-2は令和3年度月ごとの数字となっていますので、3-1とあわせてご覧ください。

3-1の1. 入館者数実績の表ですが、左側が令和3年度の数字、右側が令和2年度、さらにその右が比較数字です。下の2. 概況にまとめたように、令和3年度の入館者数は、対前年度比で6,346人増の40,791人となり、コロナ禍で大幅に来館者が減った前年度を上回ることができました。人数増の主な要因としては、いろいろと自粛が多かった令和2年度と比べ、感染防止対策をとりながら行った行事が増えたためとみています。

別紙3-2の月毎の数字を見ますと、4月・5月が令和2年度にGWを含めて臨時休館していたのに対し、令和3年度はそれがなかったため、前年比が伸びています。一方、9月に臨時休館があったため、同月は前年比で大きく割り込んでいます。令和3年10月1日に、JR東日本のE4系新幹線が営業運転を終了したことに関連しまして、同型車両が当館に保存されていることもありまして、熱心なファンの方を中心にご来館いただきました。

続きまして、別紙3-3は、ミニSLの運行実績です。

当館のミニSLは4月から10月までの期間、土日祝日を中心に運行しています。令和3年度の乗車人数は9,685人で、前年度を1,654人上回りました。来館者数同様に、感染者数が増えてきた7～8月、臨時休館に至った9月の乗車人数が減っています。

次に、別紙3-4 令和3年度 駅中サテライトていしゃば 入館実績表 です。令和元年

3月、JR新津駅東口にありましたびゅうプラザが閉鎖され、その跡を秋葉区産業振興課が観光案内所として借り、「あ！キハ」観光案内所としてオープンしています。当館のサテライト施設である「ていしやば」は、令和元年8月から、この「あ！キハ」観光案内所の中に入っています。令和3年度の入館者数は10,840人でした。レンタサイクルは、令和2年度から全て新車となり、また新津観光協会の管理となりました。このことから、以前は無料でしたが、1回100円の協力金をいただくようになりました。980件のご利用がありました。

続きまして、別紙4 令和3年度 新津鉄道資料館事業報告です。件数がいっぱいありますので、主なものを説明し、逐一の読み上げは省略させていただきます。令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響からサンクスフェアとキッズコーナー、館内でのお食事を中止としました。鉄道模型走行会はお客様と実施団体を隔てるパネルを設置して行いました。また実車公開は窓が開き風通しの良い車両を選んで事前予約制として開催しました。

特別展は、平成29年に開催した「瀬古龍雄鉄道写真展」の後の同氏ご遺族から寄贈された資料の調査研究の発表の場として「「瀬古龍雄鉄道写真展 II 一新津・新潟の蒸気機関車」を開催しました。同展では関連企画として「鉄道まちあるき」「やさしい蒸気機関車講座」そして当館では初めての試みとなるZOOMによる「リモート展示解説会」をそれぞれ開催し、新たな層のご利用をいただきました。

また、学校等行事での利用に向けて、当館展示内容を学校で学ぶことに当てはめて問題としたクイズラリーの試用提供を始めました。

以上、令和3年度事業報告でした。

■ 岩野学芸員

別紙5をご覧ください。2021年度のアンケート結果報告です。回答数は559件で、例年より少ない件数です。

まず入館者数ですが、先ほどご説明したように、9月が臨時休館となったため、そこがごそっと落ちています。かわりに10月11月にE4引退効果もあると思うのですが、例年並みか少し上回る人の動きとなりました。

アンケート回答率は、毎年とあまり変わらず1.5%前後で推移しています。次に世代別回答者数は30代が多い結果となっています。40代から上が少なくなっていて、これがコロナ感染症の影響なのかは不明ですが、例年と少し違った傾向が出ています。

1枚めくっていただいて、来館同行者数や来館区分などは例年と変わらずで、来館のきっかけに関してはチラシを見て来たという方が12%と例年より比率が高くなっています。

3ページ、住所区分のところ、県外の方は51%で例年より多い数字となっています。市内では、例年西区が多いという傾向があったのですが、今回は各区から均等に来ているという傾向となりました。次に来館目的ですが、鉄道趣味が一番で例年よりも多くなっています。市内からと県外からとでは、少し傾向が違っているのですが、県外からの観光旅行の比率が例年よりも減った傾向にあります。

5ページ、行ったことのある市内の博物館・美術館施設では、アグリパークが増えていて、マリニピア、いくとぴあ、アグリパークなど子供を連れて行ける施設へ行ったことがある人がこちらへも来ているという傾向が見て取れます。それから、行ったことのある鉄道博物館・資料館では、例年、鉄道博物館が一番多いのですが、今回は糸魚川のジオパークに行ってい

る人がある程度多いというのがわかります。

次に、印象に残った展示については、シミュレータ、新幹線車両、SL という結果になりました。最後、評価のところですが、コロナ禍のなかで来てくださったお客様なので、そういったバイアスはあるのかもしれませんが、大変良いと良いがものすごい率でついていまして、例年でも良いのですがさらに高評価を多くいただきました。

このほか記述回答についてまとめたのが別紙です。良かった点としては、資料が充実している、それから来る前に予想していたよりも良かったということ、それからキャッシュレス対応で良かったということ、外部の団体と協力していて良いという意見もありました。

そのほか改善点としては、これも例年あるのですが、ミニ SL を直線ではなく周回にしてほしいとか、ミュージアムショップの品数を増やしてほしいとか、コロナ対策で今占めているキッズコーナーを再開してほしいという意見もけっこうありました。施設老朽化はやむを得ないところかと思いますが、バスが少ないという要望が例年より増えています。

あと、リニューアル後の変化が少ないとの意見をリピーターの方からいただきまして、変えてはいるのですが、ワンコーナーを大きく変えたようなところがないので、そのようなご意見をいただいているというところです。駆け足ですが、アンケート回答に関する分析は以上です。

■ 加藤副館長

令和 3 年度の報告は以上です。

■ 金山座長

ありがとうございます。委員の皆さん、ここまでのところで、何かご質問・ご意見がありますでしょうか。

よろしいでしょうか。何かありましたら、また後でお願いいたします。

それでは、令和 4 年度事業について事務局説明願います。

■ 加藤副館長

それでは資料の別紙 6 をご覧ください。

令和 4 年度事業につきまして、計画とここまでの実施状況について、以下報告させていただきます。

01 展示公開の部分です。

令和 4 年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が続くなかでの 3 年目となります。常設展や特別展、その他の企画展示はこれまでと同様に感染の影響は少ないという見方から実施しております。鉄道模型走行会については、前年同様に、実施団体とお客様の間にパネルを設置して実施しました。また、実車公開については、換気状態の良い車両を選んで、予約制で行うといったかたちで、これも前年同様となっています。

また、パノラマ展示室内のキッズコーナーや多目的ホールでの、トイトレイン開放や館内での食事の停止など、新型コロナウイルス感染症に関わり中止している事項は、引き続き中止としています。

次に、上に戻りまして、02 収集・保存および 03 調査・研究です。

瀬古龍男氏資料調査としまして、毎年続けておりまして、これらの成果を活かすかたちで、令和 3 年度の特別展「瀬古龍雄鉄道写真展Ⅱ」を開催しましたが、瀬古氏の資料につしまし

ては、膨大な量の資料をご寄贈いただきましたので、その調査を引き続き行ってまいります。

次に、上に戻りまして、04 教育・普及のところですが、当館にご協力いただいているボランティアの皆様には、令和元年度よりも後は、来館者数が少なく、またご自身の感染の可能性もなきにしもあらずということで、ボランティアの方々への協力のご依頼を控えておりました。今年度は、いろいろな制限も解除されてきたということもあって、ご都合のつく範囲でのご協力をいただけるとありがたいということでお声掛けさせていただいております。今年は 10 月 8 日に「2022 にいつまるごと鉄道フェスタ」、これは総合車両製作所の公開にあわせて開催されたものですが、当館にも多くのお客様が来館されることからボランティアの皆様にもお声がけさせていただきました。電車運転シミュレータをお待ちのお客様のご案内などをいただき、円滑な運営を行うことができております。

ばんえつ物語号出張講座は、今年度もおこなっておりません。

新型感染症の拡大以降、県内の小学校が例年のように県外への修学旅行に行けなくなったためか、中越。上越地方の小学校を中心に、修学旅行で当館に立ち寄る例が見られました。こうした、学習活動等でご利用いただけるよう、学習指導要領に沿うかたちで、館内に展示してあるものから問題を作成し、市内および県内の学校へ参考にお送りしています。また希望する学校で活用していただいています。

特別展では、毎週日曜日に、学芸員による展示解説会を継続しておこなっているほか、上越新幹線開業に伴う新潟駅周辺の景観や土地利用の変化を探る現地見学会や Zoom を利用したオンラインでの展示解説会も実施しています。その他、今年度も、ボランティア講座を予定しています。

05 その他です。今年は 10 月 8 日に「2022 にいつまるごと鉄道フェスタ」開催し、当館では、今年度最多となる 803 人にお越しいただきました。鉄ぶら散歩抽選会は、JR 新津駅、にいつ鉄道商店街、新津観光協会、区役所などが、コロナ禍でのまちなかのにぎわいをつくろうと実施しているもので、参加の商店で買い物 500 円につき、一枚抽選補助券がもらえ、異なる店舗の抽選券 3 枚で、あ！キハ観光案内所でガラポン抽選ができるものです。当館も、当館利用者のまちなかへの回流をはかり、一般での観覧者に対し、抽選補助券を 1 枚渡すという対応をしています。

次に別紙 7-1 に令和 4 年度の事業につきまして、上半期の実績をまとめてあります。次の 7-2 が月別の内訳となっていますので、あわせてご覧ください。概況欄の真ん中より下にもございますが、今年度、9 月末までのところ、入館者数は 25,377 人で、前年比 3,187 人増となっています。4 月、5 月が順調であった半面、7 月に伸び悩みました。今年度は、だいたい昨年並みのご来館があると想定し、そこに昨年 9 月の臨時休館分が増えるであろうとの予想をしていたところですが、9 月はそこまで伸びませんでした。

別紙 7-3、ミニ SL については、来館者数と同様、全体として、昨年度より増えている状況ですが、10 月に入ってからブレーキの故障があり、にいつまるごと鉄道フェスタの前後の三連休に運休をせざるを得ない状況となりました。幸い、この土曜日に修理が完了し、運転再開しました。天気がよければ、前年をなんとか上回れるのではないかと見ています。

裏面になりますが、別紙 7-4、サテライトについてです。9 月末までのところ、レンタルサイクル利用台数を除いては昨年より多い状況となっています。10 月 8 日の「にいつまるごと鉄道フェスタ」で、新津駅東口は、商店連のミニ SL の運転会場となり、その受付近くに

ある「あ！キハ観光案内所」には、1,200 人ほどが訪れています。

資料の最後は別紙 8、上半期の事業実績報告です。これもまた逐一の読み上げは省略させていただきます。引き続き、コロナ禍のなかでの開館であります。全体としては、令和 2 年度ころの感染症拡大防止での締め付けがあったころと比べて、それらが少なくなったぶん、人の流れが戻りつつあるように感じます。とはいえ、感染拡大防止のためには、全ての制限を外すことはできず、しばらく我慢の運営が続くものと考えています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けつつも、令和 4 年度上期の事業については、以上のとおりです。

■ 金山座長

どうもありがとうございました。令和 4 年度の事業についてご質問、ご意見はございますか。また先程の事業報告についてもすべて含めて全体的なところでも結構ですので、委員のみなさまからのご質問、ご意見をお聴きしたいと思います。では、順々に南雲委員からよろしいですか？お願いいたします。

■ 南雲委員

コロナ禍で皆さん大変だと思うのですが、質問がふたつです。キッズコーナーや食事に関することなどの緩和については、どのような方向性に行っているかということと、展示が、アンケートでもリニューアル後の変化が少ないとの意見があるとお聞きしましたが、展示の変更または町内に貸し出している資料の取り替えのようなことは考えていらっしゃいますか。それから、これは意見ですけれども、先日ネクスコ東日本さんに伺いましたところ「新津インターだけは、高速道路から一旦下りても一時間は追加料金がないというインターチェンジに選ばれている」そうで、高速道路の途中のお客さんに来ていただく働きかけがあってもいいのではないかと思います。そうになっている理由としては、高速道路上にガソリンスタンドがないという理由で新津インターだけは 1 時間追加料金なしで下りられるというものができたということです。

■ 金山座長

ありがとうございます。ただいまの意見を伺っていかがですか？

■ 加藤副館長

キッズコーナーの玩具については、ご利用される方の年齢幅が広くて、小さなお子様は口に入れることもありますので、非常に残念だというお声をいただいているのは重々感じておりますけれども、もうちょっと様子を見ながらと思います。食事の制限につきましては、近隣にお食事をする場所がないということで、そういうご要望をいただいております。これにつきましても、様子を見ながらになりますし、パーテーションとかの設置で解決できるものであれば、活用も含めまして対処してまいりたいと思います。

■ 岩野主査

展示に関しては、少しずつ変えてはいるのですが、大きく変えないと気付いていただけないということもあります。変えた場合はもう少し積極的にアピールするようにしたいと思います。

■ 加藤副館長

ネクスコ東日本の新津インターチェンジの件については、非常にいいお話を伺いましたので、まず手始めに SNS などで発信してみたいと思います。

■ 金山座長

それでは引き続き、順番で樋浦委員からお願いします。

■ 樋浦委員

子どもさん連れなど多くの来館者の方が新津駅から資料館まで歩いているのを見かけます。その間に私達新町の商店街もあるのですが、祝日でイベントなどがある時に、商店街でポスターなどを貼ることができますので、道行く人にお知らせすることができるのではないかと思います。あと、ここで飲食ができないということであれば、新津のまちなかで食事をしていただきたいところですが、どこが開いているのか分からないみたいですから、鉄ぶらスタンプラリーみたいな地図に飲食店を多く載せてもらえるとありがたいです。

■ 金山座長

はい、ありがとうございました。

■ 加藤副館長

ありがとうございます。飲食店のマップは、観光協会で作ってくださったものを当館で置いていたのですが、それがみんな出てしまったのと、その後お店を閉じられたところもあるので、内容を更新しなければいけないところです。観光協会にお願いしたいと思いますし、当館の Web でも街中の飲食店を紹介しているページがありますので、修正してご案内させていただけるように取り組んでいきたいと思います。

■ 高山館長

新町の商店街では日曜日は閉まっているお店の方が多いですか？

■ 樋浦委員

はい。

■ 高山館長

当館は、土曜・日曜でだいたい 400～500 人くらい入ります。さきほどアンケートの方でも出ましたが、食事するところが近くにないというご意見も多々頂戴しておりますので、これは同じ悩みかなと思います。観光協会等と連携を取りながら、今後もしっかりと進めていかなければならない部分なのかなと思います。ありがとうございました。

■ 金山座長

ありがとうございました。それでは続きまして、熊谷委員お願いします。

■ 熊谷委員

コロナ禍の制約があるなかでのまちあるきですとか、リモート解説会ですとか、SNS での発信ですとか、そういった工夫が回復傾向につながっているのかなと思いました。一点確認

ですけれども、車両の客室運転席公開の際に換気のできる車両から順次ということですが、E4 系新幹線の公開について来年度以降検討されていますでしょうか。

■ 高山館長

E4 系新幹線は昨年引退したばかりなので、本当は公開したいのですが、ご存じのように E4 系は窓が開かないのです。485 系電車であれば運転席の窓が開いてそこから換気できるのですが、感染状況がまだまだ落ち着いていない、減っては増え、減っては増えという状況で、まだ E4 系での公開に踏み切ることができない状況です。10 月 8 日は、E4 系よりは換気ができる 200 系を公開しました。

■ 熊谷委員

200 系が公開されて良かったです。

■ 高山館長

それも 26 組に限定して、電話のみにして募集しました。

■ 金山座長

ありがとうございます。それでは関口委員おねがいします。

■ 関口委員

思うところは多々あり過ぎまして、また次回改めて発言させていただきたいと思います。

■ 金山座長

なにかひとこと。

■ 関口委員

バスについて、さくら交通さんとの兼ね合い、減便の件について、まだはっきりとした形にはなっていないのですが、コロナ禍の状況を踏まえて、次回、お話させていただきたいと思います。

■ 金山座長

以前は循環バスが出ていましたよね？

■ 加藤副館長

令和元年度まで運行していました。イベント時はある程度利用されるのですが、それ以外の土日の運行は利用者数が少ないという状況でした。そのときは当館だけでなく、新津美術館でも二次交通が不足しているとのことで、そちらも回っていました。二次交通がなくて不便だというお声はいただくのですが、実際ご利用いただく人数がある程度ないと続けるのは難しいという現状でございます。路線バスについては、新潟交通観光バスさんがこの地域の運行をするなかで、便数が減ってきたというのと路線によってはさくら交通さんに運営が変わったところもあります。料金は変わらず、時間も新津駅から 5 分で移動できるという状況は変わってございません。

■ 金山座長

循環バスはそういう状況なのですね。

■ 関口委員

減便についてはこの先どうなるのかなというのがあります。あと、私個人的にデータを取り続けてきたのですが、ご来館のお客様が、鉄道資料館に来る前、あるいは次にどこへ行くか、最多は新潟市交通公園なのです。バスでの移動に制約があるために観覧時間も限られることがあるようです。コロナ禍ではありますが、なにか新たな対応ができればいいかと思っていました。

■ 金山座長

ありがとうございます。バスの関係もあるけれども、本数もあるし、時間も、いろいろ検討していかないといけませんね。では奥原委員、お願いします。

■ 奥原委員

ご報告のなかに入館者数の件を拝見して、落ち込み方とその回復の仕方は、だいたい鉄道博物館と同じような戻り方をしているのかなという印象でした。2019 年・2020 年度に臨時休館した頃は、入館者数は激減に近い状況でした。2021 年度に、入館券をコンビニの端末で前売り券を買っていただくやり方にしたところ、入館者数が 2019 年度に普通の方法で開館していたときの 50 パーセントぐらいまで戻ってきました、今年度はまだ半年経ったところですが、おそらく 2019 年度の 70～80 パーセントくらいになりそうな感じです。地域差はあると思いますが、人の動き自体が確実に戻ってきているというのが今の印象です。その傾向自体はさほど差はないのではと拝見しました。

先程キッズコーナーのお話がありましたけれども、鉄道博物館でもお子様同士の接触の問題もあるので閉めていましたが、9 月末からはプラレールを下げた状態で、キッズコーナーにお子様が入って遊べるようにしました。

また、鉄道博物館に関しては、家族連れの割合が増えている印象があります。ひとつには前売り券をコンビニの端末で買うことが、年配の方にはできないあるいは面倒くさいと感じられているようで、以前は年配の方もそれなりにいらしていましたが、それが大幅に減っている傾向にあります。例えば、先日 SL の写真展を開催したのですが、こうしたことに関心を持つのはある程度年配の方なのですが、そういう方はあまり来館しなくなっている状況です。それはまずいかなと思っているのですが、どちらかというと現在はお子様連れの家族が、割合としては増えているというような状況です。あと、車両公開については、新幹線は難しいです。車体のつくり自体が気密構造といって外気を遮断するようなつくりになっているので、そもそもが、外の空気を入れにくい構造となっています。鉄道博物館にも新幹線車両はあるのですが、そこで開けられるかということなかなか厳しい。貸し切りに近い、出入りの少ない人数で開館したときに、少人数で入っていただくということはやりました。新幹線に関してはそれくらいが限界なのかなという感じはしております。

来年 40 周年ということですが、鉄道博物館の方は、今年が鉄道開業 150 周年ということで、ちょっと今までないくらいマスコミに取り上げられています。今回は NHK さんが鉄道を大々的に取り上げてくれて、過去の作品から新しいのまで毎日何かやっている。先週の土曜日には前に収録した番組と新しく撮影した番組で、3 時間くらい NHK の地上波で鉄道博物館で収録した番組が放送されるようなこともありました。周年というのは規模の違いはありま

すが、いろいろ食いつくことがあると思います。マスコミが取り上げやすいような企画を考えたらいいのではないかと思います、何か予定されていますでしょうか。

■ 加藤副館長

ありがとうございます。来年 40 周年にむけましては、細かいところは決まっていないところはあるのですが、なんとか予算をつけて打ち出して行けたらという段階でございます。瀬古先生の資料を大量にご寄贈いただいております、過去 2 回特別展をやっておりますが、なんらかのかたちで企画を立てて行けたらということで検討はしております。

鉄道開業 150 周年については、当館は上越新幹線開業 40 周年で特別展を開催しましたが、この特別展チラシには鉄道開業 150 周年という文字は入れてあります。

■ 高山館長

当館も今年はマスコミ、テレビ、新聞の取材が増えています。取材は積極的に受けまして、いろいろな雑誌にも載るようになりました。歴史文化課のほうからも積極的にやれという激励を受けまして、例年になく NHK をはじめ、雑誌、新聞に取り上げていただいているというのが現状ですし、これからも積極的に対応していきたいと考えています。あと入館者数の関係ですけれども、コロナのせいというのがあって令和元年度と比較すると 1~2 割は、それでも落ちているというのはなかなか復活しないというのはあります。さらに例年開催していたサンクスフェアで 5 千人くらい入っていただいていたのですが、それがコロナの関係でできていないということで、元に戻るのには難しいという感じです。どちらかというと、学生、鉄道愛好家の方が増えている印象があります。県外客も多くなってきました。

新幹線の公開ですが、光前頭を取ってそこから空気を入れ替えようかとも思ったのですが、やはり無理なので、新幹線の密閉性がいいというのが逆に仇となっているというかたちです。

キッズコーナーについても、当館は狭いので、2~3 組お子様が入れるとそのなかでお座りして遊びますので、どうしても密になるし、それを親御さんに注意するというのも後ろめたさがあります。今のところはまだ開けられないというところです。

■ 金山座長

ありがとうございます。最後に私からいくつか。ひとつはマスコミに 150 周年で取り上げられているというのはけっこうなことなので、前にもお話したように、マスコミに露出したものを、とりあえず金額で換算して、それを外に出す必要はないですけれども役所の予算の折衝をするときに材料に使ったらいと思うのです。先程、課長から話もあったように魅力の発信としてここを使っていくとか、あるいは来年 40 周年で打ち出していくのであれば、当然予算というものは確保していかなければならないので、そのための材料にするには非常にいい機会だと思います。ぜひこれは出してください。

あとアンケートの報告のなかで、リピーター率というのはどんな状況ですか。

■ 岩野学芸員

報告のなかでは端折ってしまいましたが、2 回以上という人が半分弱といったところです。意外に初めてきたという人が一定数はいるという状況です。

■ 金山座長

県内、県外では？

■ 岩野学芸員

県外からの来館者のリピーターは一定割合でいます。久しぶりに来たら展示が変わってなかったというようなご意見もいただきます。

■ 金山座長

リピーターについて気をつけなければならないのは、イベントで再来館したのではなく展示を観るために再来館した人がどれくらいいるかということです。この場合、資料がたくさんある。こういう展示を見に来る人は、リピーター率より高い可能性がある。それが捕めたら、面白いデータなので、その点ちょっと気になります。展示は1回見てしまうとリピーターは来ないという傾向があるけれど、ここはもしかしたら違うのかも知れない。そこが気になりました。

それからコレクションのことですけれども、収集して整理して公開することが大事ですけれども、膨大なコレクションがあって、それを整理している。それからこの前お亡くなりになった澤野前委員のコレクションなども大きかったのではないかと感じています。そういうものを今後どうしていくのか。何でもかんでも受け入れればいいのかというわけではないけれども、館として必要なものだと認識すればそれは是非ご寄贈いただくようなかたちで考えていくべきではないかと感じました。

それから最後に入館者数の話ですが、だいぶ館長は苦勞されているようですけれども、コロナの状況なので、あまり気にしないほうがよいです。気にするのは健康上もよくない。国立博物館の中期計画などをみると、目標管理の指標は入館者数についてはあまりうるさいことを言わなくなっています。私に関っている関東の政令指定都市の博物館を運営している財団では、市の目標管理として入館者数の数字を出していたが、それが今はやらないほうがよいということになったそうです。流動的な状況なので、数字を目標にすることはナンセンスだと思います。職員にもいい影響を及ぼさないで、一定数の目標は必要だと思いますが、それに縛られるような運営管理のしかたというのは、国も他の自治体もそういう管理のしかたをしているのでということで、配慮していただきたいなということで、変えていったほうがよいと思います。

■ 遠藤課長

ありがとうございました。金山先生からのご意見、参考にさせていただきました。最後の新津鉄道資料館の入館者の指標について、私としましても博物館、資料館をとりまく環境は大きく変化しております。コロナ禍ということもありますけれども。そもそも博物館、資料館は内向きに市民のみなさまに対して何回か来ていただくというところからスタートしましたが、実体としては来館者の半数が県外から来ていただいていると。ひとつは来館者の数ではなく質、中身、そのほか地域の魅力を創出するとか文化を発信するとかいうところに価値が出てくるのではないかと。先日、鉄道資料館でも今回新潟駅周辺整備事業で新潟駅は大きくリニューアルされますけれども、その再開発事業にもかかわっておりますし、私たちには学芸員もおりますので、外に出てその価値を高めることが大事なのではないかと思っております。首都圏と違って地方都市ではなかなかアイデアが生まれにくいところもありますが、

みなさまからご意見をいただき、新たな気付きというか、大きなヒントをいただいたと思っております。大変有意義なご意見をありがとうございました。

■ 金山座長

博物館は、岩野さんのように長年キャリアがあつて分かると思うのだけれども、見た目の価値というか入館者を何人集めればいいのか、なんぼ儲かったらいいという話ではなくて、市の今後のことをいろいろ創造していく価値というのはあるわけなのです。それは決して1年2年で出てくる話ではなくて、5年10年長期的な話なのだけれども、そういう目線で博物館というのは存在価値がある唯一の文化的な施設ですので、いま課長がおっしゃったような認識で今後進めていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

それでは、ほかにないようでしたら事務局のほうにお返しします。みなさんどうもありがとうございました。

■ 高山館長

みなさま本当に貴重なご意見、課題等頂戴しましてありがとうございました。また、座長におかれましては、議事進行ありがとうございました。今日の内容につきましては今後の運営に生かしてまいる所存であります。またなにかありましたら、ご意見等お寄せいただければ幸いです。以上をもちまして令和4年度第1回新潟市新津鉄道資料館運営協議会を終了させていただきます。大変ありがとうございました。